

「地域資源∞全国展開プロジェクト」
平成20年度 採択案件一覧表(農商工等連携枠:商工会議所分)

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	札幌商工会議所 (北海道)	【札幌大豆を活用した商品開発事業】 ○農業者—商工業者—専門家—流通業者等との連携 ブランド化されている「札幌大豆」を農業資源として活用するため、札幌ならではの新加工食品を地元農業・加工業者との連携のもと開発し、地産地消のための新たな特産品づくりと販路拡大を目指す。
2	茅野商工会議所 (長野県)	【そば・寒天の新商品開発プロジェクト】 ○商工業者—大学—専門家等との連携 茅野地域の最大資源である気候風土を活かしたそば・寒天の新商品を開発し、地産地消を進めてブランド力向上を図り、新たな「食文化の創造」と「元気な地域づくり」を目指す。
3	川口商工会議所 (埼玉県)	【次世代3GYO(農業・安行・商業)プロジェクト】 ○農業者—商工業者—大学—専門家—観光協会—行政—地域住民等との連携 全国的ブランドである“安行の植木”を通じ“川口市＝緑豊かなまち”のイメージを定着させ、新たな鉢物ブランドの開発やPRとともに、緑化産業と商業との連携から貴重な緑をテーマとした観光事業を全国に発信する。
4	尾鷲商工会議所 (三重県)	【農商工連携による「養殖マダイの特産品開発」と「おわせ特産品玉手箱」づくり大作戦！】 ○漁業者—漁業協同組合—高校—専門家—流通業者—行政等との連携 地域資源である養殖マダイのブランド化を図るため、「おわせマダイ弁当」をはじめ、特産品を組み合わせた尾鷲の風土や季節が感じられるパッケージ商品を開発するとともに、通信販売に向けた基盤づくりを行っていく。
5	日向商工会議所 (宮崎県)	【日向黒潮食文化形成事業】 ○漁業協同組合—商工業者—専門家—観光協会—行政等との連携 「日向かつお」の一級品以外に対する付加価値の醸成と流通に関する検証を目的に、漁協をはじめとする水産業界や流通業界の小規模事業者と連携し、全国展開を図る。